

保護者からの手紙（第8回－2）

柿本団長様、スタッフの皆様

今年もおの100で息子がお世話になり、ありがとうございました。  
今年には本当に暑い5日間で、「無事、完歩出来るかな。」と心配しておりましたが、  
元気に帰って来て、安心しました。

今回、2回目という事で、親子共に少し余裕があった様に思います。  
しかし、本番5日間はこの暑さですし、本当に大変だったと思います。  
私自身も昨年のように“子どもの姿を見て泣いてしまった”  
という事はありませんでしたが、帰って来た息子と話しをしていると、  
大きく成長した事を感じる事が出来ました。  
「今年は暑かったけえ、しんどかったね。隊を外れたりする事はなかったん?!」  
と聞くと、  
「すごいお腹が痛くなった時があって、休もうかと思ったけど、  
『〇〇は歩調コールの音が7班で一番大きい』って言われとったけえ、  
自分が隊から外れたら、声を出す人がおらんようになると思って、踏ん張ったんよ。」  
とっていました。

バスケットボールクラブの練習では、「しんどい、足が痛い...」と、  
すぐに休む息子とは別人の様でした。  
帰って洗濯物を出す時も、今年には自分でまとめていたらしく、  
すぐに洗濯機を回すことが出来ました。  
(昨年は色んな所から洗濯物が出てきて、それだけでもかなりの時間がかかりました。)

本当に、経験は生きる力です。

それと、もう一つ。  
今年には準備段階から、  
「おの100は今年で終わり、来年はもう行かん。」とっていたのですが、  
帰って来てすぐに、「やっぱり来年も行くよ。」とっていました。  
本当に多くの方に支えられ、励まされ、大きく成長した息子にうれしく思っています。  
私も息子に負けない様、親として成長していかなければ...と思います。  
ありがとうございました。

平成22年8月14日